

平成 13 年第 2 回内分泌攪乱化学物質問題検討会議事概要

日時：平成 13 年 10 月 3 日（水） 10：00～12：00

場所：東条インペリアルパレス

出席委員：有菌幸司、井口泰泉、井上達、岩本晃明、大島康行、小野勇一、角田禮子、梶野忠、香山不二雄、鈴木継美（座長）、住吉好雄、高杉暹、田辺信介、坪田敏男、遠山千春、本城凡夫、増井光子、松尾昌・、宮本純之、村田幸雄、森千里、森田昌敏、安野正之、山口直人、若林明子、渡辺正孝（敬称略）

事務局：岩尾環境保健部長、安達環境安全課長、鈴木環境リスク評価室長 他

- 議題：1 平成 12 年度内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査結果について
- 2 ヒト精巢の継続的調査及び臍帯におけるダイオキシン類等化学物質の蓄積・暴露状況調査について
 - 3 平成 13 年度に新たにリスク評価に取り組む物質について
 - 4 その他

議事要旨

- 1 平成 12 年度水環境中の内分泌攪乱化学物質実態調査結果、平成 12 年度農薬の環境動態調査の結果、平成 11・12 年度内分泌攪乱化学物質による野生生物影響実態調査結果、平成 12 年度内分泌攪乱化学物質大気環境調査結果、平成 12 年度環境負荷量調査の結果について報告。
- 2 ヒト精巢の継続的調査及び臍帯におけるダイオキシン類等化学物質の蓄積・暴露状況調査結果について報告。
- 3 平成 13 年度に優先してリスク評価に取り組む物質として、8 物質（ペンタクロロフェノール、アミトロール、ビスフェノール A、2,4-ジクロロフェノール、4-ニトロトルエン、フタル酸ジペンチル、フタル酸ジヘキシル、フタル酸ジプロピル）が決定した。

以 上

内分泌攪乱化学物質問題検討会委員名簿

有菌 幸司	熊本県立大学環境共生学部教授
井口 泰泉	岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター教授
井上 達	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長
岩本 晃明	聖マリアンナ医科大学医学部教授
内山 実	富山大学理学部教授
大島 康行	(財)自然環境研究センター理事長
奥野 泰由	住友化学工業(株)生物環境科学研究所研究グループマネージャー
角田 禮子	主婦連合会参与
梶野 忠	神奈川県環境農政部技監
香山 不二雄	自治医科大学保健科学講座教授
清水 誠	東京大学名誉教授
鈴木 継美	東京大学名誉教授
住吉 好雄	(財)神奈川県労働衛生福祉協会理事
高杉 暹	横浜市教育委員会委員長
田辺 信介	愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授
坪田 敏男	岐阜大学農学部教授
遠山 千春	国立環境研究所環境健康研究領域長
中村 正久	早稲田大学教育学部教授
花岡 知之	国立がんセンター研究所支所臨床疫学研究部疫学研究室長
本城 凡夫	九州大学大学院農学研究院教授
宮本 純之	国際純正応用化学連合「化学と環境」部会 前部会長
村田 幸雄	(財)世界自然保護基金ジャパン・シニアオフィサー
森 千里	千葉大学大学院医学研究院教授
森田 昌敏	国立環境研究所統括研究官
安野 正之	滋賀県立大学環境科学部教授
若林 明子	淑徳大学国際コミュニケーション学部教授
和田 勝	東京医科歯科大学教養部教授